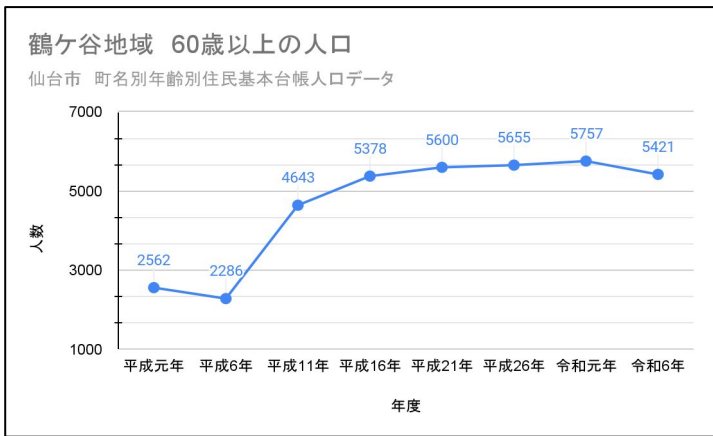


地域の輪を広げよう

宮城県仙台第三高等学校 探究31班

背景

鶴ケ谷地区は**高齢化社会**となっている。高齢化社会は様々な問題を抱えており、認知症や孤独死といった問題はよく話題にもなる。また、それに加え地域の過疎化といった問題もある。



仙台市 町名別年齢別住民基本台帳人口データ

目的

高齢者の抱える孤独死や認知症などの様々な**問題の解決**やそれに伴う**地域活性化**を行う

調査①

地域団体の方の話 鶴ケ谷の現状と高齢者の実態

三種類の高齢者層

1,元気な層 2,支援が必要な層 3,無関心な層



1 元気な層:すでに自らのコミュニティを確立 40%
2 支援が必要な層:行政レベルでの対応 25%
3 無関心な層:持病等で満足に活動できない
そもそも地域の活動に関心がない 35%

→3の層には...

緊急時に対応してくれる人のつながりや施設が著しく少ない

考察①

どちらにも属さない**無関心な層**を対象にして、イベントを行う
→**高齢者のコミュニティ形成**が孤独死や認知症などの様々な**問題の解決**につながる

調査②

高齢者大学 副理事のお話

地域活性化にも様々な形があり、自分達が自ら社会に飛び込むプッシュ型と自分達の輪の中に人を呼び込むプル型の2つに大きく分蹴られる。

→その中で自分達が目指すのはプル型

調査③

実際どのような効果があるのか

↓地域包括センター様作成資料より

認知症の増加率

一定の割合と割合が上昇する場合

100万の差



調査より

無関心な層を対象とし、より**持続的に開催**できる、**コミュニケーションを中心としたイベント**。

計画

2つのアプローチ

**ベンチを使った
コミュニティ形成**

ベンチは人が集まる場所
→居場所になる

どんな場所？

ひと呼吸つきながら地域の方が集まってゆっくりと過ごせる居場所

近くの施設にも協力していただき、地域の方が集まれる場所を作る

講話を中心としたイベント

→呼び込みを目的としたイベント

・健康系の講話
→仙台福祉協議会の方が手伝ってくれる

・防犯系の講話
→地域安全教室講師派遣事業について、という仙台市の事業がある

今後の展望

イベントを実行するために...

- 1 地域の高齢者や飲食店に広報活動を行う
- 2 イベントの開催
- 3 改善案を考案 + 改善案の実施(引き継ぎ)

広報活動・イベントの開催は、**地域包括支援センター様**をはじめとした、協力してくださる団体様と共同で行う



最終的には...

高齢化が進んでいるこの日本で、鶴ケ谷地域と同じようにコミュニティの減少や地域活性化が問題・課題となっている地域の良い前例になる